



# AU通信

事務局 〒659-8501 芦屋市精道町7-6  
芦屋市教育委員会 社会教育部  
生涯学習課内

TEL 0797-38-2091  
FAX 0797-38-2089

ホームページ  
<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>

Eメール  
ashiya@unesco.or.jp

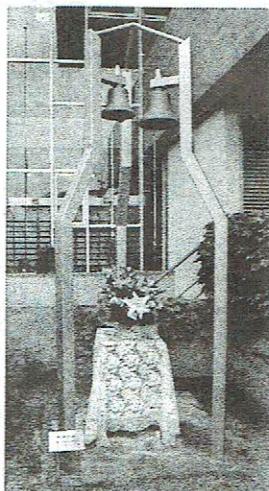
発行:芦屋ユネスコ協会  
会長 廣瀬忠子

## 8月15日「平和の鐘を鳴らそう」行事 実施報告



70年目の終戦記念日に当たる8月15日(金)、本年も芦屋市・芦屋市教育委員会と共に「平和の鐘を鳴らそう」行事が盛大に実施されました。

市民センター正面玄関横の「優愛の鐘」広場には、山中市長をはじめ、会員やその家族を中心、一般市民やお盆で帰郷されていた皆さんも含め約100名が集い、～平和の祈りと願い～

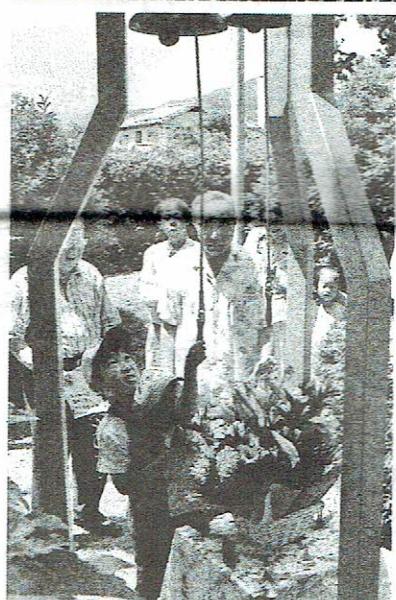


を込めた行事を実施しました。

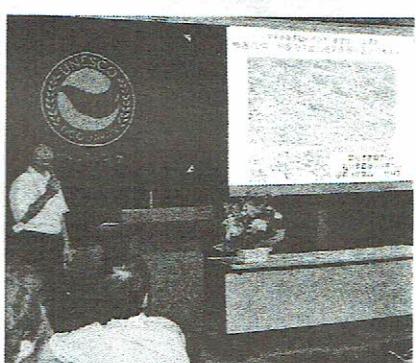
山中市長の挨拶の後、ユネスコの「平和宣言」を一同高らかに唱和。

正午のサイレンとともに黙祷し、平和への誓いを新たにしながら、一人ずつそれぞれの思いを込めて「優愛の鐘」を高らかに鳴らしました。

こうして今年も、芦屋から世界に向けて「平和への祈りと誓い」を力強く発信することができました。



引き続き、市民センター401室に会場を移し、第2部「平和を願う懇親・懇談会」を実施しました。



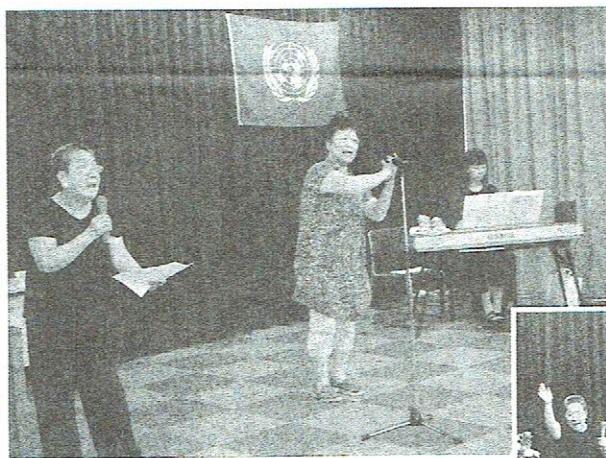
冒頭に、絵本「へいわってすてきだね」の中の詩を朗読、次いで芦屋市生涯学習課文化財係長・竹村忠洋氏のミニ講話「戦後70年、芦屋の文化と歴史を振り返って考えよう」で、芦屋が受けた四度の空襲による被災状況や、その後の復興都市計画構想に基づく街づくりの経緯と芦屋国際文化住宅都市建設法公布についてなど、芦屋の文化と歴史を確認させていただきました。

その後、芦屋ユネスコ協会の役員・会員有志が用意した戦時食をイメージした「ふかし芋」と「おにぎり」を食しつつ、70年前の終戦当時を偲び合いました。

山田事務局長の司会で、数人のかたから戦中・戦後当時の体験談や戦争の悲惨さ、また平和がどれだけ大切かについて切々と語っていただきました。

その中には、生々しい芦屋空襲時の様子に加え、戦争の悲惨さと平和を祈る“うた”五首の紹介もあり、子供代表も含めて二度と戦争を起こしてはならない決意を語っていただき、参加者一同が平和の思いを共有できました。

最後には、記念イベントとして声楽家・加藤純子さん(ソプラノ)による「みんなで、平和のうたを歌いましょう！」の歌唱指導があり、金沢佳代子さんのピアノ演奏で「ともだち讃歌」・「上を向いて歩こう」を、浅田太枝子さんに手話歌指導をいただきながら全員で合唱し、記念すべき戦後70年の「平和の鐘を鳴らそう」の行事を、盛大かつ大変感銘深く実施することができました。



ユネスコは、「二度と戦争を起こしてはならない！」という「平和の志」を掲げ、「世界の平和と人類の福祉に貢献する」ことを活動の原点としています。

こうした志・心を未来へとつないでいくためにも、芦屋ユネスコ協会の「平和の鐘を鳴らそう」行事は大切です。20年間途切れることなく継続してきたこの「平和の鐘を鳴らそう」行事は、毎年参加者も増え、芦屋市民の皆さんにも定着しております。

またマスコミ各社にもこの芦屋の行事は毎年注目されており、本年も複数の新聞社の取材を受け、

さらにJ:COM(CATV)には行事全体を収録いたたくなど、世界に向けて芦屋から平和の大切さを発信する事ができました。

そして本年も、芦屋市・芦屋市教育委員会と共に開催することで、大変意義のある行事になりました。

加えて、参加された皆さん、お手伝いに汗を流してくださった役員・会員の皆さん、今回の行事を全面的にサポートしてくださった公民館の皆さんに、心から感謝いたします。

すべての関係者各位に厚くお礼を申し上げ、行事報告とさせていただきます。

(文責：山田事務局長・写真：南 ゆう子会員)



# 平和の歩み未来へ

卷之三十一

## 芦屋の空襲語り継ぐ

100  
人が平和の集い

70回目の終戦の日の15日、黄屋コネスコ協会など  
が主催する平和の集いが芦屋市業平町の市民センター  
であり、約100人が参加  
した。正午の黙祷の後、平  
和への願いを込めて「愛  
の鐘」を鳴らした。その後、

8月、4回の空襲で約40人が死亡し、市域の約40%が焼け野原になった。集団に参加した岳よし子

と繰り返してはならない  
し、体験を因んでいかなけ  
ればならぬ」と語った。  
(甘利道徳)

筆者(の記憶を語る)「不誠の續」を読む  
にわける題「母和の妻  
を書くか」が15日  
直近正義半の机頭に  
眠やンタードもいた。  
参加者は正午のサイン  
ハド紙といわれむるか、  
敷居区の「學園の鐘」  
を打ふ鳴ひつて平和の  
尊さをかぶしめた。  
回中と題題コネクト  
協会が毎年開いており、  
今回は市民の約70  
人が集まつた。  
回セントアーディ、ふ  
かし手やねにあつが田舎  
意され、参加者は誠懇

## 芦屋で戦争の記憶語り継ぐ催し

## 体験聞き当時の食体験



戦時中の食事をしのび、  
ふかし芋などを食べる市  
民ら=市原市堀平町

田の井町に通じたので、初めて参加した大内ながら、回市の最後の講演は田小堀町で2歳で歩みを振り返る講演だ。田小堀町では、だと聞いた人の衝撃耳を傾けた。職場体験遭遇した市内の講演で、を振り返り、「つづきを語り始めた時もあつて、「歴史が語りたい」と語った。でも手が続いてほしり、意識体験や手和へ外に田たかの里やねい」と語った。の思いを語った。

(井隱 徹)

# 平和 守る時

不戦の誓い、各  
地で輸和を  
行ふる平和  
と孫子と

# 「平和 私たちが作る」

戦後10年の終戦記念日となった15日、県内でも失われた尊い命を慰靈し、平和への思いを新たにする行事が各地で開かれた。70年の月日は悲惨な戦争の記憶をさそり、奪いかねない現実を突きつけてくる。「あの日を決して忘れない」。戦没者への想いの輪が70年の夏、各地で広まつていった。



ふかし亭を食べる子供たち=声優市民センター

阪神地域でも言葉は和への願いを語った。や宝塚市など多くの市民らが参加し、戦争裏離れ小2年、金縛りでない社会に向ふ思いを新たにした。君(8)は「おいしい」を新たにした。どうぞおはるひながら、事は嫌だ。戦争中は食べ物がなかつたら大変だったと思うことをした。戦勝中は神奈川県で空襲を体験した。

里庄雄さん(65)は二  
慶と戰事が起きてないよ  
うに、子供や孫たちに  
も平和の大切さを伝え  
ていきたい」と話した。  
宝塚市末広町の末広  
中央公園では、平和  
の鐘前で終戦70周年  
平和祈念式典が開かれ  
約300人が出席し  
た。市原燃費改善の会  
の岡田好子会長が平  
和とは「安心して生活  
できること」／「一人ひとり  
が輝いていること」／  
みんなが幸せを感じる  
こと／「平和は、私たち  
が作り出すものです」  
と平和の無い言葉を  
述べた。  
西宮市などでも、戰  
没者を追悼する行事が  
あつた。

## 「風化ばやせまし」

「風化はさせまい」  
神戸市兵庫区の兵庫公会堂では15日、「戦争の悲惨さ」を語った。それの如く、神戸市立文教園では約120人の出席者で、平和への祈りを込めて、セントラルの文教園前にある鐘を鳴らした。その後、船内の会場に移動。終了後、1945年（昭和20年）の「神戸空襲」の悲惨さや肉類の戦争体験などを、当時の食卓の雰囲気から感じながら、手やおにぎりなどを交えながら、区内などで伝えてもらう。そこから2人が登壇。『風化はさせまい』と、それを知る者たちが、その言葉を胸に、この戦争の悲惨さを語った。

新日本

# 第36回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業に参加して

初秋の神戸に、阪神間の各ユネスコ協会のメンバーが集いました。

第1部「講演会」では『～平和社会を目指して～国際テロリズムについて』と題し、公安調査庁 神戸公安調査事務所 主席調査官・三宅潤治氏から、台頭する ISIL (Islamic State in Iraq and the Levant) 通称 IS (Isamic State: イスラム国) は野武士と山賊を掛けて2で割ったような者であって、「ならず者=踏みつけていく者」と言えるとの説明は、現代人の智恵を結集して立ち向かわなければいけない大きな課題を提起されたものと受け取りました。

こうしたIS台頭の一因として、貧富の差に失望する若者の存在があること、例えば、サウジアラビア王朝の国では、王族でないと価値のある仕事に就けないことなどを通して説明されました。

現在は、ISに世界100カ国以上から約25,000人の戦闘員が集まっているといわれ、シルクロードにある世界遺産を爆破していることはニュースでも周知のとおりです。

「一番大切なのは、教育だ！」—ユネスコ教育も含めて教育だとのお話に納得でした。また、シリアでは、1,600万人の国民の半分が難民となってヨーロッパ、とりわけ豊かなドイツへと流入していると報じられています。日本人として何が出来るのかを思考するいい機会となりました。また、山中芦屋市長からの祝電も届き、披露されていました。

(文責:小澤千香子)



神戸ユネスコ協会理事で元宝塚歌劇団  
・雪組男役の千城恵さんが歌を披露



阪神間合同事業には、由里副会長・徳矢常任理事・青木理事・藤井理事・松沢理事・小澤常任理事・巽さんの7人が参加しました。

# 戦後70年、ユネスコ活動 「世界遺産・地域遺産への取り組み」

国連の重要機関であるユネスコは、国際平和と人類共通の福祉に貢献するため、多くの活動をしていますが、その中の一つに「世界遺産・地域遺産」の活動があります。

世界中の多様な文化や自然を理解することは、平和の社会を形成してゆく第一歩です。

祖先から引き継がれてきた、大切な自然や文化を次の世代へ届けることが、今を生きる私たちの使命と考え、ユネスコ認定の世界遺産やそれぞれの地域の遺産を守り次世代に継承する活動を行っています。

現在、世界遺産は1,010件あり、その内、日本は19件認定されています。

芦屋ユネスコ協会は、世界遺産だけでなく、芦屋の地域未来遺産の継承・伝播する事業活動を行っています。

芦屋で次世代に残していかねばならない芦屋の未来遺産を「芦屋の未来遺産100年リレー」と称し、市民の皆さんの意向をもとに選定して、これを永久に残してゆく活動を行っています。

第一次の選定内容と補完解説版を芦屋ユネスコ協会のホームページで紹介しています。

ぜひ一度、芦屋ユネスコ協会のホームページを開いて、見ていただきたいと存じます。

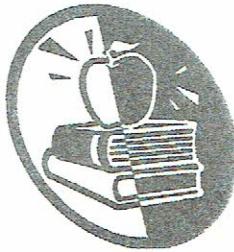
なお、認定されている「日本の世界遺産」は、以下の通りです。

## ◆日本の世界遺産(文化遺産15件・自然遺産4件) 計19件

- ① 法隆寺地域の仏教建造物(1993年・文化遺産)
- ② 姫路城(1993年・文化遺産)
- ③ 屋久島(1993年・自然遺産)
- ④ 白神山地(1993年・自然遺産)
- ⑤ 古都京都の文化財(京都・宇治・大津 1994年・文化遺産)
- ⑥ 白川郷・五箇山の合掌造り集落(1995年・文化遺産)
- ⑦ 原爆ドーム(1996年・文化遺産)
- ⑧ 嶼島神社(1996年・文化遺産)
- ⑨ 古都奈良の文化財(1998年・文化遺産)
- ⑩ 日光の社寺(1999年・文化遺産)
- ⑪ 琉球王国のグスク及び関連遺産群(2000年・文化遺産)
- ⑫ 紀伊山地の霊場と参詣道(2004年・文化遺産)
- ⑬ 知床(2005年・自然遺産)
- ⑭ 石見銀山遺跡とその文化的景観(2007年・文化遺産)
- ⑮ 平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡(2011年・文化遺産)
- ⑯ 小笠原諸島(2011年・自然遺産)
- ⑰ 富士山—信仰の対象と芸術の源泉(2013年・文化遺産)
- ⑱ 富岡製糸場と絹産業遺産群(2014年・文化遺産)
- ⑲ 明治日本の産業革命遺産<製鉄・製鋼・造船・石炭産業革命-8県にまたがる23資産で構成>(2015・文化遺産)



姫路城



# 次代へつなごう 「芦屋の未来遺産」

## ～芦屋文化の100年リレー④～

芦屋ユネスコ協会では、芦屋市制施行70周年を記念し、平成22年(2010年)に冊子「芦屋の未来遺産」を発行しました。その後、平成25年(2013年)に発行した「補完・解説版」は、145ページに及ぶかなり詳細な資料ですが、まだまだ追記したいことはたくさんあります。

未来遺産運動推進委員会では、その1つに「芦屋市内の指定文化財」の追記を考えています。

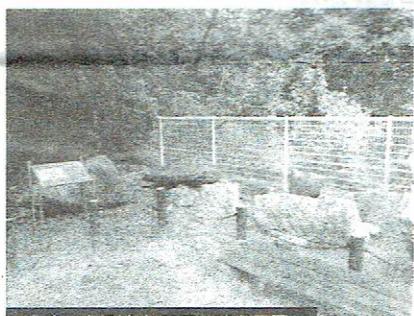
市内の「指定文化財」には、大別して『国指定文化財(重要文化財)』<6件>・『国登録有形文化財』<2件>・『県指定文化財』<1件>・『市指定文化財』<13件>が登録されていますが、その中のいくつかは個人所有・非公開であるものもあり、全体はご紹介していませんでした。

今後追記する際には、ぜひ市内の「指定文化財」全体が一目でわかるようにしたいと考えています。

今回は、『市指定文化財』<13件>のうち残りの6件についてご紹介します。

### ■芦屋市の「市指定文化財」について

| 市の指定物件              | 指定年月日       | 所在地等                   | 備考           |
|---------------------|-------------|------------------------|--------------|
| ⑧ 德川大坂城 毛利家採石場出土刻印石 | H16. 03. 26 | 剣谷17番地先<br>芦屋靈園内       | 自由見学可        |
| ⑨ 会下山遺跡出土 青銅製漢式三翼鏃  | H19. 03. 02 | 伊勢町12番25号<br>芦屋市立美術博物館 | 展示期間中<問合せ要>  |
| ⑩ 金津山古墳             | H22. 03. 19 | 春日町3番                  | 生涯学習課へ<問合せ要> |
| ⑪ 月若遺跡出土小銅鐸         | H24. 04. 01 | 伊勢町12-25<br>芦屋市立美術博物館  | 展示期間中<問合せ要>  |
| ⑫ 芦屋川の文化的景観         | H24. 04. 01 | 芦屋川 中・下流域              | 自由見学可        |
| ⑬ 寺田遺跡出土黄釉鉄絵陶器盤     | H25. 05. 01 | 伊勢町12-25<br>芦屋市立美術博物館  | 展示期間中<問合せ要>  |



⑧ 德川大坂城 刻印石（芦屋靈園）

#### みんなで選んだ「芦屋の未来遺産」【補完・解説版】

##### ⑧徳川大坂城 毛利家採石場出土刻印石（補完・解説版P29参照）

徳川大坂城は、元和6年(1620)～寛永6年(1629)に江戸幕府によって築かれた城。築城にあたっては、西国35カ国64家もの大名たちが動員され、石垣には約100万個の石が使用されたといわれます。その約半数の石が、現在の西宮市・芦屋市・神戸市東灘区の採石場から切り出されました。芦屋靈園内の刻印石もその1つで、平成5年の靈園拡張工事の際に出土しました。

##### ⑨会下山遺跡出土 青銅製漢式三翼鏃（補完・解説版P23-P124～125参照）

会下山遺跡(えげのやまいせき)は、昭和29年(1954)に発見された弥生時代中期～後期(紀元前2世紀～紀元1世紀)の高地性集落跡です。

##### ⑩金津山古墳（補完・解説版P25-P45-P126～127参照）

古墳時代中期後半(5世紀後半)の前方後円墳。現在は、後円部のみ残る。黄金埋蔵伝説のある古墳。

##### ⑪月若遺跡出土小銅鐸（補完・解説版P25参照）

月若遺跡は、5～6世紀の祭祀遺物や近世の酒造関係の窯10基などが出土しています。

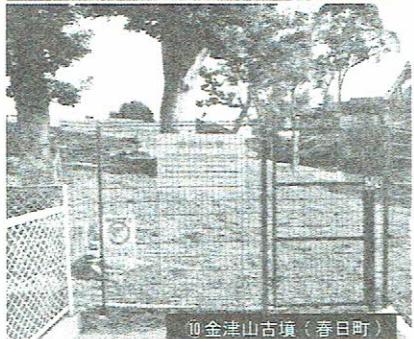
##### ⑫芦屋川の文化的景観（補完・解説版P1～5ほか参照）

平成24年(2012)に指定。芦屋川の流域には、国指定重要文化財旧山邑家住宅をはじめ数多くの文化財があり、芦屋川の文化的景観の一部を形成しています。

##### ⑬寺田遺跡出土黄釉鉄絵陶器盤（補完・解説版P25参照）

黄釉鉄絵陶器盤は、12～13世紀に中国で作られ、日宋貿易によって芦屋にもたらされたものです。

(文責・アドバイザー 南 ゆう子)



⑩ 金津山古墳（春日町）

# 芦屋ユネスコ協会「年末講演会＆親睦会」ご案内

早いもので、いよいよ今年も年末が近づいてまいりました。

平成27年度も、恒例となりました芦屋ユネスコ協会主催の「年末講演会＆親睦会」を下記のとおり開催いたします。会員の皆様はもとより非会員のご家族やご親戚・ご友人・お知り合いなど多数お誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

◆日 時 12月15日(火)午後6時～8時30分 <※午後5時30分・受付開始>

◆会 場 ホテル竹園3階

◆内 容 ①講演会…外務省特命全権大使(関西担当)政府代表  
②食事会…フリードリンク  
③ピンゴ…景品多数一(ピンゴ券1枚500円)  
④エンターテーメント…乞うご期待!

◆会 費 6,000円(学生3,000円) ※当日受付でお支払いください。

◆出欠届 往復はがきをお出しします。出席・欠席にかかわらず必ず返信してください。  
※お問い合わせ等は、下記までお願いします。

【事務局】本荘 恵美 電話・FAX 0797-32-7910

◆回答期限 11月24日(火)<必着>

※締め切り厳守ください。できるだけお早目のお返事をお願いします。

【お願い】 ①ピンゴの景品提供にご協力を願います。家に眠っているもの(新しいもの)をお持ちください。当日受付でお手渡しくだされば助かります。よろしく。  
②書き損じはがきがございましたら、併せてご持参ください。

## 新入会員ご紹介

ご入会ありがとうございました。大歓迎です。

★川原 亜依 様(学生)

★川原 麻由 様(学生)

## 《編集後記》

今年も「年末懇談会」のお知らせをする季節がめぐってまいりました。  
今から、皆様のお元気なお顔を見ることができますことが、たいへん楽しみです。  
今年もいろいろありましたが、「終わり良ければすべて良し」で、楽しく  
過ごしたいと考えています。お友達などたくさんお誘い  
合わせの上、多数ご出席ください。(本荘 美恵)